

# ぜんしゅりきょう

2017  
3月  
March

通巻85号

## 全国研修会特集

### 平成28年度全国研修会を東京で開催!!

平成29年2月23日東京の榎エッサム神田ホールにて第2回全国研修会が開催され、全国各地から総勢51名が参加されました。保志康徳広報委員長からは全宗協のブランドシンボルやPR映像が発表され、今後加盟店が活性化していくための活動提案を、小堀賢二理事長からは冊子発行に至るまでの経緯や日本人の宗教観、「PRAY for (ONE)」の今後の展開についてお話をいただきました。どちらも一歩踏み込んだアプローチで、プロジェクトの理解を深める大変重要な研修会となりました。

#### 今後の全宗協加盟店の活性化について

##### 全宗協PR映像・YouTube映像 作成過程報告

広報委員長 保志康徳氏

日頃より広報委員会へのご理解ご支援いただきありがとうございます。「PRAY for (ONE)」の活動も数年が経ち、いろいろ見えてきたこともあり、これからは皆様と力を合わせて前進できればと思います。まずは「PRAY for (ONE)」のプロモーションビデオ(以下PV)、それはそれでいいのですが、全宗協自体のPRをもっとしてほしい、全宗協の加盟店とそうでない店との差別化を



保志康徳広報委員長



司会の吉田光宏氏

してほしい、会員増強につなげてほしいというお声をいただきました。

もう一つ、CM枠を持っている会員様からは15秒のPVの要望をいただいておりますので、それを踏まえて、今回の全宗協のPVを30秒と15秒のバージョンでも作らせていただきました。お仏壇のない家庭に育ち、祈るといことが身近に感じられていない若い人を想定し、青春ドラマの二コマのように仕上がっていますので、まずはご覧下さい。(PV放映)もう一つ、全宗協の幅の広さ、全国をネットワークし

ている組合である一般的な方々に向けて訴求するために何か面白いアプローチはないかと、ユーチューブに

アップできるように沖縄からの映像も含め、全宗協は心の絆を結ぶ団体であって、仏壇仏具を継承してきますよということをPRできればと思い、制作しました。「PRAY for (ONE)」の活動を含めて、今後これをどう活用していくかということをご説明したいと思います。

これまで「お店に足を運んでもらうには?」「これまでのお店のイメージを払拭するには?」「活気あるお店にするには?」等、色々なお声を聞きました。こうした悩みを抱えている全宗協のお店を何とか広報委員会が起爆剤になって活性化に向かっければいいのではないかと思います。3点考えてきました。

まず現状打破するために、全宗協の加盟店は2月23日現在361社、これは多い数だと思えますので、これまで以上に手を取り合ってやっていこうということです。そしてこのPVをお店で流して

いただきたい。店員さんがいればSNSに個人レベルで拡散していただく。また我々の業界の得意なところは、知人・血縁などの人のつながりですから、その人のネットワークに各々流すと非常に大きくなるのではないかと思います。



プロモーション映像試写の様子

#### 【目次】

P1	研修会特集	平成28年度全国研修会開催
P2		今後の全宗協加盟店の活性化について
P2	研修会特集	『小さな祈りのプロジェクト』
P3		冊子発行について ニューリーダー部 研修活動報告
P4		東海総会のご案内、仏壇表示問題白書 事務局からのお知らせ



もう一つ、一般の方々に向けてわかりやすいシンボルマークを掲げていったらいいのではないかと思いい、あくまで広報委員の案です。「INORI JAPAN 日本の祈り文化と、共にある。全宗協」ということで、ここで職を得ている社員さんが誇りを持って、日本の祈り文化を継承していますよということを出せるようなマークにしました。この全宗協のマークも悪くないですが、「一般生活者が受けるイメージが「硬い」とか「認識しにくい」ということなので、もう少しわかりやすく信頼されるブランドとして認知度を上げていこうというのが背景にはあります。「全宗協のお店はどこか?」という時に、「祈りジャパン」に今までの全宗協のマークも入れたポスターを店頭に貼り、先ほどのPVを流せば、全宗協の加盟店と一般の人にもわかると思いますし、どうせ買うのだったら「祈りジャパン」の全宗協の店でご購入をと、361社が大きな声を発していければ差別化できるのではないかと思っています。のぼりや念珠、お線香、あるいは渋谷の広告塔で流すとか、車にもステッカーを貼るとか、そんな展開も考えられます。ここをキックオフとして皆さんのご意見を聞きながら進めていこうと思っ

ています。そして三つ目が、年間を通して皆さんのお店共通で同じことをやりましょう、ということですか。季節ごとの企画で変化

のある店舗を演出します。1月は「初詣」、宗教心が薄れたといわれますが、毎年九千万人もの人が初詣に行くのですから、これをビジネスチャンスにしないともったいないと思います。2月「涅槃会」、3月「春彼岸」、4月「花まつり」、5月「母の日参り」、こういったことを共通のイベントとして361社が全国で一斉に始めたらかかなりの影響力があると思います。その時にPVもポスターもすべて活かしていく。大事なことはこの活動を一緒にやっていこうということです。今までお仏壇を買って来ていた大家族が減り、買わなかった層が増えているので、そこに対してアクションを起こす。通年企画として今流行っている御朱印帳もいいと思います。ミラー的に御朱印をもらっている方が多いと聞きますが、そこから本場の「御朱印」の意味をオシャレに教えていくのが我々の業界の役割なのではないかと思えます。修学旅行シーズン前の学校で何百冊も御朱印帳が売れるそうです。そんなところにも全宗協の目指す文化を加えて広めていけばいいのではないかと思います。

PVは会員の皆様にDVDでお届けしますので、ポスターもお店に貼っていただいて、ここが全宗協のお店であるということの態度表明していきましょう。30秒と15秒のPVを作りましたので、これをぜひCMとして活用ください。最後に広報委員会の案としてPVと一緒に資料もお配りしますので、361社が一斉に共通のアクションを起こすものを作って動き出せば店舗の活性化につながるはずですよ。PVをキックオフとして祈りの文化、仏壇仏具の普及に向けて、力を合わせていければと思います。どうぞ宜しくお願いいたします。

## 「PRAY for(ONE)」小さな祈りのプロジェクトについて

### 小堀理事長の講演



が増え、輸入品も激増しています。数量ベースでは、お仏壇の輸入品が国内販売数の七割を占めています。

そついで業績を伸ばす、あるいは少なくとも現状を維持するには、大きく区分すると次の二つでしょう。自分(自社)で頑張るか、業界の底上げをするか、このどちらかです。全宗協でも3年前までは、業績を伸ばすためにはどうすればいいのかわからないことで、製品知識や販売促進の研修に取り組んできました。しかし、競争が激化すると不当表示などが出てきて、業界全体が消費者から見放されるという問題もあ

「PRAY for(ONE)」(以下「PFO」)の進め方についてお話しさせていただけます。今回、冊子『日本人が誇る無宗教』を発行するにあたり、保志さんと宗教工芸社の住田社長にご協力をいただき厚くお礼を申し上げます。また「人は何のために「祈る」のか」の著者のおひとり棚次正和先生からも評価をいただきありがたく感じています。

まず、宗教用具業界が今、どのような状況かを、共通認識しておく必要があると思えます。マーケットの縮小が今後も続くと考えられますが、その根本的な要因は、第1次産業が大きく減少し、逆に第三次産業が激増していること、つまり定住型の人が減っているということです。住まいと地域・お寺との代々の繋がりが離れてしまいました。さらに、旧来の専門店以外の店舗

そこで業界の底上げを図るにはどうしたらいいのかということ、PFOにいきつきました。しかし、プロモーションビデオ(以下PV)の制作や祈り鶴を折ることだけが「PFO」だとの誤解もあります。「PFO」は、すでにサポーター団体が63団体になっています。今のところ、活動内容は①PVの放映、②「祈り鶴」の普及、③ウェブサイトの運営、④大手企業を含め業界以外の企業への啓蒙活動。この四つです。②については京都の清水寺で昨年2回開催しましたが、かなり影響力は大きかったように思います。エンディング産業展などの催事でも、来場者に祈り鶴を折っていただきました。





次に「PFO」を進める背景についてです。PVの制作や祈り鶴を折ることだけを見て慈善事業と言われるかもしれませんが、お仏壇をはじめ宗教用具は、伝統工芸ということでスベックが語られることが多いですが、製品の役割もお客様に伝えていかなければなりません。また「お仏壇には社会安定の装置としての機能もある」という認識も必要でしょう。ロシアや中国のような無宗教者が多い国でも、宗教を認めざるを得なくなってきたことも理解できます。さらに、日本人の日常には祈りの場面がたくさんあって、ひたすら祈っているのに、それに気づかないのが我々日本人なのでしょう。日常生活の中に溶け込んでいるため気づかない小さな祈りが、実は日本人の品位や、礼節に結びついています。日本人の九千万人もが訪れる初詣でも、その方に宗教を尋ねると「無宗教」と答える人が多いでしょう。

①海外の人が見る日本人への評価。②脳科学者が解明する祈りの効用。③憲法問題に向けての発信。これらは一見バラバラに見えても共通しています。①については、政治、経済、スポーツ等は国際交流も盛んでグローバル化のシヨンの中にあります。しかし、各国の日常生活はそれぞれ個性があつて、グローバル化に溶け込まないほうがいいでしょう。日本人の祈りや、家に礼拝場所としてのお仏壇があること。それは海外からの評価の対象になります。東京オリンピック・パラリンピックや2019年京都で開催される「国際博物館会議」はアピールできるチャンスです。

②については、「祈り」について「脳科学」の面からの研究も進んでいて、関係書籍も出ています。宗教の側にある「祈り」と医学の側にある「脳科学」が結びつくこととしています。

③については、憲法の何が問題なのかが問われます。まず、現行憲法(第20条)では道徳と宗教の境界線がありませんが、自民党改正草案では、これらが区分されているように読みとれます。「PFO」の推進には追い風と言えるでしょう。

日本人がすでに身につけていた「祈り」。それに気づいてもらい、さらに推奨することが「PFO」です。日本人にはなぜ「無宗教」との回答者が多いのか、でも、我々の努力でこれが変わる可能性が大いにあります。宗教用具業界が潤うのはまだその先でしょう。ご清聴ありがとうございました。

## ニューリーダー部 研修活動報告

株式会社安田松慶堂 代表取締役 安田元慶氏

1日目は、江頭仏壇店の江頭社長にご案内いただき、江頭仏壇店様店内をスタートにオリジナル家具を製作する工房、世界一の取り扱い種を誇る製材所、そして仏壇工場や大川組子の工房を見学させていただきました。

400年以上の伝統と技術が集積された大川の家具の歴史を学ぶ事ができました。



2016年11月10日から1泊2日で九州・福岡へ(21名参加)



ニューリーダー部は引き続き魅力的な研修を企画してまいりますので、今後とも皆様方のご協力とご参加をよろしくお願い申し上げます。

2日目は、篠栗四国霊場の総本寺で、高野山真言宗の別格本山でもある南蔵院様を参拝しました。副住職様にご案内をいただき、ブロンズ製としては世界一の大きさ(全長41m、高さ11m、重さ300トン)を誇る涅槃像の胎内も参拝させていただきました。

また、仏足にも触れ、お釈迦様の尊い教えと慈悲の心をいただいております。



## 第30回 通常總會の開催のご案内(東海地区)

JR名古屋駅上のホテルにて、創立30周年の記念總會および講演会を開催いたします。總會後のご講演は、TV出演でもお馴染みの武田邦彦教授にお引受けいただき、全宗協が取り組む「PRAY for (ONE) 小さな祈りのプロジェクト」を新たな観点で導いていただけるようなお話が伺えると期待しております。話術巧みな武田先生のご講演をぜひたくさんのお客様、およびご家族、従業員の方々にご拝聴いただきたく、ご案内いたします。



武田邦彦教授



名古屋マリOTTアソシアホテル

- 開催日:平成29年5月23日(火)
- 開催場所:名古屋マリOTTアソシアホテル
- 日程:總會(17F コスモス)15:00~16:00 (受付14:30~)
- 講演会( // )16:15~17:45
  - 講師:武田邦彦氏 工学博士 中部大学教授
  - テーマ:「科学から見た命と祈りの大切さ」
- 懇親会:会場(16F アイリス)18:30~20:30
- 参加費:1人16,000円(5月12日(金)までに下記口座へお振り込み下さい)
- 三菱東京UFJ銀行 銀座通支店 普通 0189695 名義:全日本宗教用具協同組合

## エクスカーションのご案内 5月24日(水)開催

### ① 伊勢志摩コース(定員27名。15名に達しない場合、中止となります。)

- 参加費:28,000円(交通費、昼食代、保険代金含む)
- 行程:7:30 ホテル集合 ▶ 10:00~11:00 伊勢神宮(内宮~おかげ横丁)参拝・散策
- ▶ 12:10~14:30 賢島(志摩観光ホテルグルメランチ) ▶ 17:00~17:30 名古屋到着



賢島

### ② 名古屋城・徳川園コース(定員27名)

- 参加費:12,000円(交通費、入場料、昼食代、保険代金含む)
- 行程:9:15ホテル集合 ▶ 10:00~12:00 名古屋城見学(本丸御殿等) ▶ 12:30~15:30 徳川園(昼食と庭園・美術館見学) ▶ 16:00 名古屋駅着予定



徳川園

※①②コースは4月20日(木)までに下記へFAXでお申込のうえ、5月12日(金)までに代金をお振込ください。

(有)旅工房(担当:寺西) TEL:052(451)1139 FAX:052(451)1138

振込口座:三菱東京UFJ銀行 笹島支店 普通1466663

### ③ ゴルフコンペ(定員6組24名)

- 新南愛知カントリークラブ 美浜コース 愛知県知多郡美浜町大字野間字内扇43番地 TEL0569-88-5522
- 参加費:10,000円(總會受付時に集金) プレイ費(20,000円概算)および個人購入分は各自ご精算ください。
- 行程:7:00名古屋駅構内金時計下集合 ▶ 9:03~9:17新南愛知CCスタート ▶ 17:30名古屋到着予定

※ゴルフ参加ご希望の方は4月20日(木)までに下記へFAXでお申込ください。

(有)三清本店 水野清仁様 TEL:052(321)2866 FAX:052(321)3593



## 『仏壇表示問題白書』 残部僅少 お買い求めはお早めに!!

昨年5月に発行され組合員の皆様にお送り致しました、『仏壇表示問題白書 表示が創る豊かな心の市場 伝統工芸文化の継承のために』は、その後多数の追加申込もいただき、いよいよ残部が少なくなりました。

定価1,500円のところ、組合員優待価格(2割引)1,200円でお求めいただけます。

ご購入をご希望の場合は、**仏壇公正取引協議会 事務局**までお問い合わせください。

TEL 03-6206-0572 FAX 03-6206-0574

## 事務局からのお知らせ

### 1. 当面のスケジュール

- 4月20日(木) 役員会(東京 エッサム神田ホール)
- 5月23日(火) 第30回 通常總會(名古屋マリOTTアソシアホテル)
- 6月22日(木) 役員会・委員会(メルパルク京都)
- 10月4日(水)~5日(木) 全国研修会(メルパルク京都)

2. 組合員数 平成29年3月20日現在 354名

### 3. 組合関係者の訃報(平成28年12月10日~29年3月20日)

〈中国地区〉

(株)ひょうま 代表取締役 川嶋孝英様ご母堂 川嶋エツ子様  
 平成29年1月7日 享年84歳

〈九州・沖縄地区〉

(株)井ノ口仏壇店 代表取締役 井ノ口敬三様ご母堂 井ノ口キヌ子様  
 平成29年1月11日 享年96歳